

令和2年度 高冷地水稲生育速報(第6報)

岐阜県中山間農業研究所

1. 生育概況(8月14日調査)

調査日	年度	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉色		葉齡	出穂日
				葉色板	SPAD値		
たかやまもち	本年	—	—	—	—	—	7月24日
	前年	—	—	—	—	—	7月27日
	平年	—	—	—	—	—	7月25日
あきたこまち	本年	—	—	—	—	—	7月29日
	前年	—	—	—	—	—	7月29日
	平年	—	—	—	—	—	7月28日
ひだほまれ	本年	—	—	—	—	—	8月2日
	前年	—	—	—	—	—	8月2日
	平年	—	—	—	—	—	7月30日
ひとめぼれ	本年	—	—	—	—	—	8月3日
	前年	—	—	—	—	—	8月2日
	平年	—	—	—	—	—	8月1日
コシヒカリ	本年	—	—	—	—	—	8月7日
	前年	—	—	—	—	—	8月4日
	平年	—	—	—	—	—	8月4日

栽培条件：移植5月15日 栽植密度22.2株/m² 1株4本稚苗移植 基肥N=0.5kg/a
栽植密度は、平成27年度は21.2株/m²、H28～31年度は 22.2株/m²

平年値：過去5年間(H27年～H31年)のうち調査を実施した年の平均値
()内の数値は対平年値

2. 気象状況と当面の管理

1) 気象概況

8月上旬の気温は平年より高く推移した。日照時間は平年並みであった。

2) 生育概況

出穂期は平年より、「たかやまもち」で1日早く、その他の品種では1日～3日遅かった。

3) 病虫害等の発生状況

イネドロイオイムシの発生が確認され、発生密度は高くないが、だらだらと発生が続いている。「あきたこまち」、「ひとめぼれ」等で穂もちや枝梗もちの発生が散見される。被害が広がるようであれば、ブラシン等で防除を行う。

4) 今後の管理

出穂から開花期は稲が最も水を必要とする時期であるため、常時湛水管理とする。また、カメムシ注意報が発令されている。研究所内ほ場でもカメムシが散見される。出穂後4～7日を目安に1回目のカメムシ防除を行い、必要に応じて2回目も行う。

8月に入り、高温が続いている。今後も続くようであれば、刈取り時期に注意する。特に「ひだほまれ」は胴割れしやすいため刈取り時期を逃さないよう注意を払う。

令和2年(2020年)の気象図(高山市)

— 本年
- - - 平年

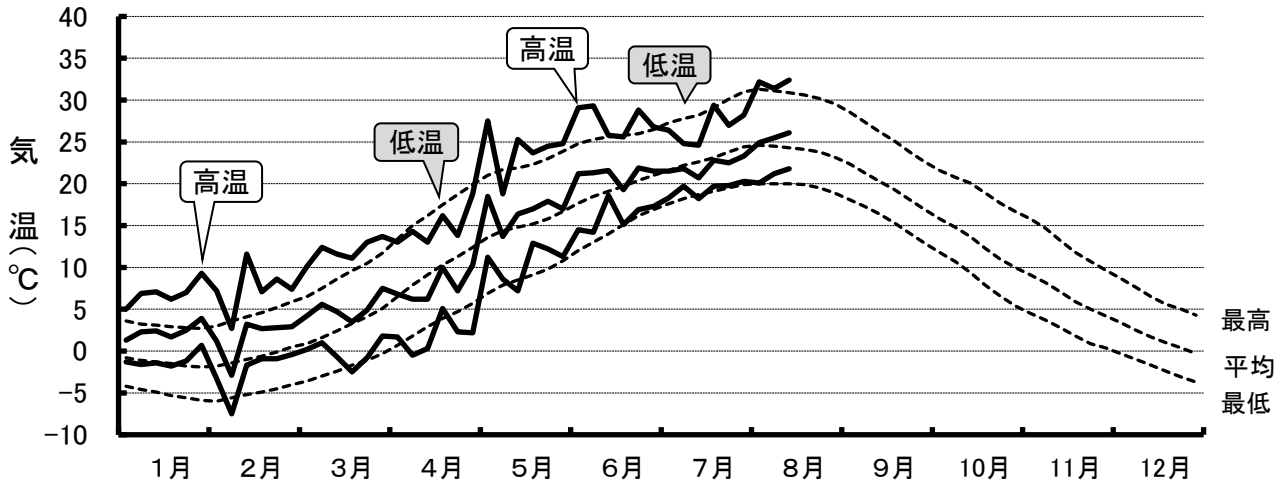


図1 本年度の半旬別気温の推移(高山市)

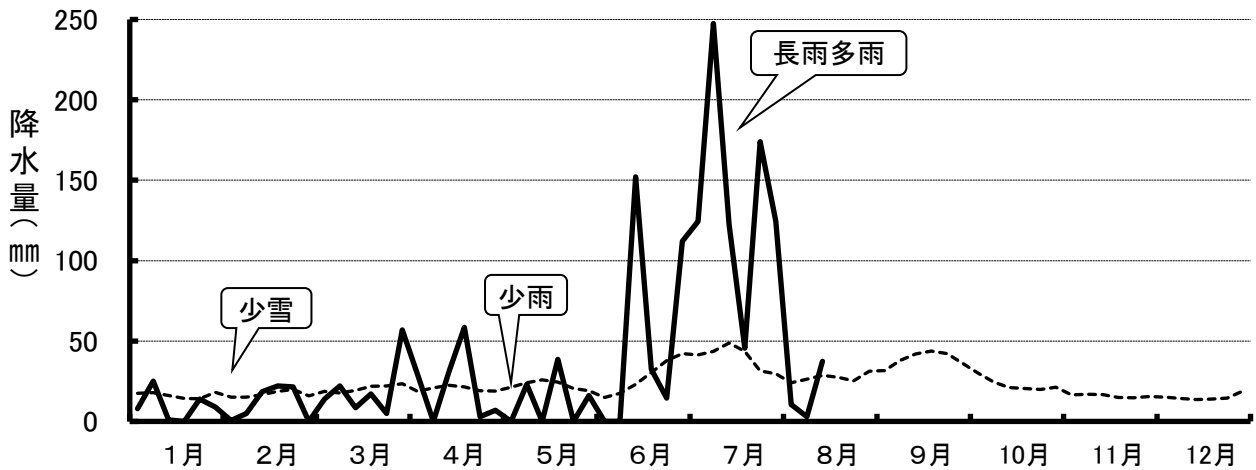


図2 本年度の半旬別降水量の推移(高山市)

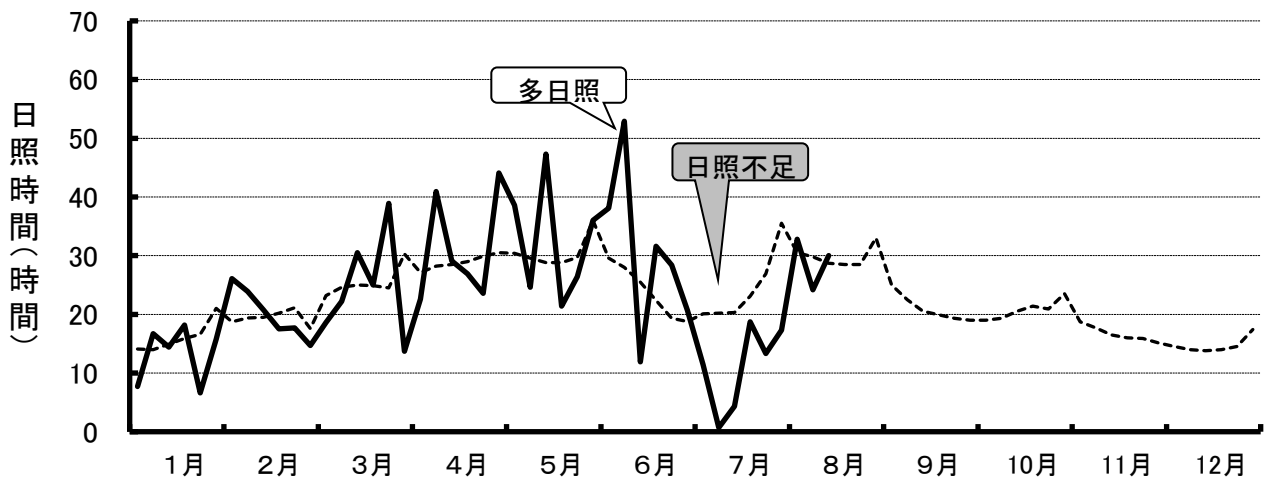


図3 本年度の半旬別日照時間の推移(高山市)